

セーフコミュニティ国際認証期間満了により、本紙のタイトルを今回から「交通安全通信」に変更します。取組は継続して行いますので、今後ともよろしくお願いいたします。今回は、令和7年の交通事故件数等のデータが確定しましたので、ご紹介します。

鹿児島市内の交通事故件数及び死傷者数

	令和7年	令和6年	増減	増減率
件数	1,122件	1,255件	-133人	-10.6%
死者数	11人	14人	-3人	-21.4%
負傷者数	1,199人	1,370人	-171人	-12.5%

※ 高速道路上の事故は除く

令和7年鹿児島市内の交通事故データを見ると、事故件数・死者数・負傷者数は、いずれも減少しています。その中で、全事故に占める高齢者が関与する事故や高齢者が死亡する事故の割合は前年を上回り、依然として高い状況が続いています。



鹿児島市内の高齢者が関連した交通事故件数及び死傷者数

	令和7年	令和6年	増減	増減率	市内の事故に占める割合(令和7年)
件数	485件	501件	-16人	-3.2%	43.2%
死者数	6人	8人	-2人	-25.0%	54.5%
負傷者数	190人	221人	-31人	-14.0%	15.8%

※ 高速道路上の事故は除く

※ 件数は、高齢者が関与した数値で、「死者数」、「負傷者数」、は高齢者が被害にあった数値

鹿児島県内の交通事故の類型別件数

人対車両の事故			車両相互の事故		
類型	件数	構成比	類型	件数	構成比
対面通行中	15	4.2%	正面衝突	119	6.0%
背面通行中	23	6.4%	追突	799	40.3%
横断歩道横断中	123	34.5%	出会い頭衝突	533	26.9%
横断歩道付近横断中	13	3.6%	左折時	63	3.2%
その他横断中	86	24.1%	右折時	148	7.4%
その他	97	27.2%	その他	322	16.2%
計	357	100.0%	計	1,984	100%

鹿児島県内における交通事故の第一当事者の違反種別

第一当事者の違反種別等		
類型	件数	構成比
信号無視	81	3.4%
指定場所一時不停止等	100	4.1%
ハンドル・ブレーキ操作不適	150	6.2%
前方不注意	729	30.2%
動静不注意	310	12.8%
安全不確認	808	33.5%
その他	236	9.8%
計	2414	100.0%

県内の人対車両の事故では道路横断中の事故が6割以上、車両相互の事故では追突と出会い頭衝突が7割近くを占めています。



交通事故における第一当事者の違反種別は、前方不注意や安全不確認等の「ちょっとした不注意」が原因の事故が多く8割近くを占めています。

運転中や歩行中は、前方はもちろん、左右の安全確認を徹底して下さい。



全交通事故の約77%を占めています

地域での交通安全教室等をお考えの際は、安心安全課までご相談ください。電話：099-216-1209（直通）